目をつむる写真展

滋賀⇔京都 2022

一境界を超えて一

"Eyes Closed" Photo Exhibition, Shiga⇔Kyoto, 2022: Beyond boundaries



2022年4月12日 [火] - 4月23日 [土]

12:00 - 18:00 /月曜・休

galerie 16

主催:一般社団法人ヴァリアスコネクションズ

後援:滋賀県/京都市/京都市教育委員会/京都府社会福祉協議会/

京都新聞社会福祉事業団



目をつむる写真展 滋賀⇔京都2022 ―境界を超えて―

「目をつむる写真展」は、2015年に京都市山科区でスタートし、これまで京都、静岡で計4回開催し、年齢、性別、国籍、 障がいの有無を超えた約2000人の人たちが共に目をつむりました。

そして第5回のテーマは「境界を越えて」。昨年に静岡で開催した「目をつむる写真展2021」でご縁のあった滋賀県東近江市の障がい者支援施設「止揚学園」から撮影が始まり、東近江から滋賀へ、そして京都へと様々な"境界を越えた"つながりの輪を広げていきます。

目をつむると、普段見られない表情が浮かび上がります。そしてその表情から、その人の新たな一面に気づくことができるでしょう。また、目をつむることは寛容を表すメタファーでもあります。さらに、瞑目が祈りに通じるように、その表情は心の目をひらき、自分を見つめ、他者への信頼に満ちています。

目をつむることに思いを巡らせながら、本展を通じて、人との関わりを見直すきっかけになったり、見えない「つながり」を 感じたり、新たな「つながり」が生まれることを願っています。



企画:成実 憲一/ Kenichi Narumi

1971年、京都市生まれ。1994年、静岡大学教育学部卒業。一般社団法人ヴァリアスコネクションズ理事長。大学卒業後、アート、写真、福祉が交差する展覧会やワークショップを多数企画。2015年から「目をつむる写真展」を開催 (2015・2016・2018・2021)。2017年から障がいのある人たちの社会参加を目的にしたカメラサークル「だれでもカメラ部」を主宰。

日 時:2022年4月12日 [火] -4月23日 [土] 12:00-18:00/月曜・休

入場料:無料

会 場: ギャラリー 16

※本会場にはエレベーターがございません。階段のご使用が困難な方は巡回展でご鑑賞いただければ幸いです。

■本展終了後、京都市内、滋賀県内を巡回予定。 詳細はウェブサイト【http://www.various-c.com】 にて随時お知らせします。

【巡回展①】

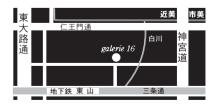
2022年5月3日[火] - 5月8日[日] 9:30 - 17:00 ※初日は13:00から 最終日は16:00まで ◎入場料:無料

会場:kokoka京都市国際交流会館 2F回廊 京都市左京区粟田口鳥居町 2-1

地下鉄東西線「蹴上」駅下車、徒歩約6分

galerie 16

〒605-0021 京都市東山区三条通 白川橋上ル石泉院町 394,3F TEL.075-751-9238 e-mail info@art16.net HP www.art16.net



地下鉄東西線: [東山] 1 番出口北へ徒歩 1 分/市バス: [東山三条] より東へ徒歩 2 分 Subway: To-zai Line [Higashiyama Stn.] Exit①/ Buses: [Higashiyama Sanjo]

3F Sekisen-in-cho, Sanjo, Shirakawabashi-Agaru, Higashiyama-ku, Kyoto 605-0021 Japan

お問い合わせ:一般社団法人ヴァリアスコネクションズ

〒606-8411 京都市左京区浄土寺東田町67番地1 ジュンヒル106 TEL. 075-741-8517 FAX. 075-741-8748

MAIL. info@various-c.com WEB. http://www.various-c.com

